

協会だより

第35号

平成29年10月16日発行

福岡県立学校事務職員協会

会長の挨拶

「御挨拶」

今年度も上半期が終了し、会員の皆様におかれましては学校行事や監査の準備等御多忙な日々を過ごされていることと存じます。また、協会の運営に対しまして、日頃から御支援、御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

本年7月に発生しました九州北部地方の集中豪雨は大きな被害をもたらしました。被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。復旧に向けて日々努力されている方々の姿や、また支援のためのボランティア活動に励む方々の姿に深く感動いたしました。

また、同じ7月には明るいニュースもありました。今年度の福岡県立学校事務職員協会総会において、宗像副市長 久芳昭文氏による講演がありましたが、その中で「宗像・沖ノ島関連遺産群」の世界遺産登録に向けての活動について言及されました。当初、イコモス（ユネスコの諮問機関）の勧告では、沖の島と3つの岩礁のみが世界遺産の対象となり、他の関連遺産群は除くということでしたが、7月に開催された世界遺産委員会では、関連遺産群を含む全てが世界遺産に登録されることが決定しました。また一つ福岡県から世界遺産が誕生したことは、大変喜ばしいことです。

6月には長崎県佐世保市で、九州大会が開催されましたが、福岡県から筑豊地区の研究グループによる「ワークライフバランス」をテーマにした発表を行いました。今、働き方改革などといった、長時間労働を縮減し、自分の時間を持つことの大切さが注目されています。ワークライフバランスを実行するには効率よく仕事を進めていくことが必要です。地方公務員法の改正により、給与反映を前提とした人事評価制度が一般職員も平成29年度から本格的に実施されるようになり、その評価が平成30年度の昇給や勤勉手当に反映されるようになります。評価項目の「チームワーク」の中で、仕事と生活の調和に資するような効率的な業務運営や良好な職場環境づくりに向けてとった行動が評価のポイントの一つになっています。毎日多忙な日々を過ごしていらっしゃると思いますが、自分のやり方を見つけて実行してください。

また、同大会の佐賀県の発表の中で、年間のスケジュール表を作成し、引継ぎに活用する例があげられていましたが、自分で計画表を作成するのも、効率よく仕事を進めていく手段の一つであると思います。行コミの事務職員協会のスマートページにも役立つソフトが掲載されていますので、是非活用してください。

8月に石川県金沢市の県立音楽堂で開催された全国大会では、午前中は研究発表、午後からはパネルディスカッションや班別討議が行われました。県立音楽堂は、加賀百万石の観光都市にふさわしい立派なコンサートホールで、その圧倒的なパイプオルガン等の設備に驚かされました。今年で全国協会は70周年を迎えるということで、大会の前日には祝賀会が行われました。全国大会実行委員会の皆様の運営努力もあって、すばらしい記念大会となりました。

結びに、本協会は、学校事務職員としての資質の向上や若手職員の人材育成に取り組んでいます。

また、各種委員会、各地区研究委員会も事務の効率化・改善を目指して日々研鑽を積んでいます。今後とも協会の活動に御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様の益々の御健勝、御活躍を祈念いたします。

(会長 武田 美余)

各 研 究 大 会 等

◎福岡県立学校事務職員協会研究発表会並びに総会

開催日 平成29年5月26日(金)

会 場 福福岡リーセントホテル

【研究発表会】

1 研究発表

「ワークライフバランス ～意識を変える」 筑豊地区研究委員会

発表者 稲築志耕館高校 参事補佐兼事務次長 佐々木 志津子

嘉穂東高校 主任主事 川並 敏文

今年度九州大会で行われる研究発表のダイジェスト版の発表が行われました。

2 特別講演

演 題 「私が出会った素晴らしい人」

講 師 宗像市副市長 久芳 昭文 氏

3 研究部活動報告

4 地区事務研究委員会活動報告

【総会】

3名の来賓をお迎えし開催されました。福岡県教育庁総務部総務課日高課長からご祝辞を頂きました。平成29年度新役員、評議員、選挙管理委員の紹介を武田会長から行われ、その後、新規採用者の自己紹介が行われました。議案については、提案どおり議決されました。

【その他】

旧役員8名のうち出席いただいた2名の方に、感謝状と記念品が贈呈されました。お疲れ様でした。

平成30年度は平成30年5月25日(金)開催予定です。

◎第65回九州協議会研究大会並びに総会

開催日 平成29年6月7日(水)～6月9日(金)

会 場 アルカス SASEBO

九州・沖縄各県から289名(内福岡県58名)の参加がありました。

本県からは筑豊地区研究委員会の発表「ワークライフバランス」があり、参加者は楽しそうにシー

トに記入したり発表に何度も頷いたり和気藹々な雰囲気、会場の共感を得ていた発表でした。

特別講演は、株式会社 Aand Live 代表取締役 高田 明氏「夢持ち続け日々精進」。通販番組「ジャパネットたかた」に出演されていた当時と変わらぬハイ톤ボイスで「伝えること」の重要性についての熱い講演でした。

活発な意見交換がなされた初日の研究発表と2日目の高田氏の講演、熱くぎっしり実の詰まった研究大会だったと思います。

功労者表彰では、本県から19名の方々が表彰されました。総会では会務報告・決算・事業計画案・予算案について審議がなされました。

30年度は、平成30年6月20日(水)～6月22日(金)佐賀県鳥栖市で開催されます。



◎第70回全国公立高等学校事務職員研究大会 総会

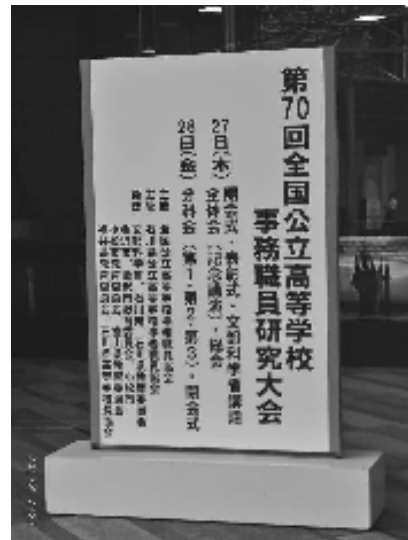
開催日 平成29年7月26日(水)～平成29年7月28日(金)

会 場 石川県立音楽堂 他

全国から841名の参加があり、本県からは55名の参加がありました。本県からの研究発表はありませんでした。詳しい内容は大会冊子をご覧ください。

永年勤続表彰は本県から19名が表彰されました。おめでとうございます。

30年度は、平成30年7月25日(水)～7月27日(金)山口県山口市で開催されます。



今年7月に発生しました九州北部地方の集中豪雨で大きな被害を受けられた、朝倉市杷木町にあり
ます朝倉光陽高等学校の坂本事務長に当時の状況をお伺いしました。

お忙しい中、対応していただきありがとうございました。まだまだ復興の途中で想定外の業務も多々
あるかと思います。お見舞い申し上げます。突然の災害にどう対応されたのか、会員の皆様にも少し
も参考になれば幸いです。

■〈7月5日の状況を教えてください。〉

〈いつの段階で危険な状況だと判断され対応されましたか?〉

当日は3時過ぎまで激しい雨も降らず、避難指示の発令もありませんでした。周辺の状況も変わ
りはなく、危険な状況ではありませんでした。危険な状況だと気づいたのは、職員が帰宅する頃で、
急に、学校の前の国道が冠水し、横を流れる寒水川は土石流となりました。避難できる状況ではあ
りませんでしたので、土石流の状況を見守りながら、学校に留まりました。

■〈生徒への対応はどうされましたか?〉

期末考査期間中で、生徒は大方いませんでしたので、特段対応はありませんでしたが、数名の生
徒が居残っていましたので、避難してきた他校の生徒3名と学校に留めました。

当日は電話で全生徒の安否確認をしました。翌日から7月19日まで臨時休校とし、7月11日
から家庭訪問を実施しました。

■〈職員への対応はどうされましたか?〉

帰宅出来なかった27名の職員が学校に留まりました。帰宅した職員には、着いたら連絡をする
ように指示し、そして全職員の安否確認をしました。

■〈施設の被害状況を教えてください。〉

校舎、実習棟、工作物、樹木等に被害はありませんでしたが、山間にある実習地の斜面が10カ
所崩落し、1カ所は寒水川の土石流に巻き込まれました。また、水田2カ所及び運動場と校内敷地
の一部に土砂が流れ込み堆積しました。

■〈地域の方が避難されてきたと伺っていますが、職員は、どんな支援をされたのですか?〉

本校は避難所施設ではありませんでしたが、地域の学校として避難されて来られた方々の受け入
れをしました。避難者・被災者の中には、高齢者や体が思うように動かない方もいましたので、そ
の方々には介護実習室を使っただき、その他の方は会議室を使っただきました。当日の夜
は職員が作ったおにぎりを提供し、翌日から職員とコミュニティの方々が作った食事やパンを提供
しました。そして7月10日までの6日間24時間体制で対応しました。

■〈避難指示が出された日の学校の状況と対応を教えてください。〉

7月5日20時39分に避難指示が発令されましたが、学校の周辺の状況では避難できそうではありませんでしたし、土石流も校舎内までは流れ込んでくるようなこともさそうでしたので、学校に留まりました。

7月10日12時51分に避難指示が発令されました。警察、消防の指示もあり避難者・被災者及び職員は一旦体育館2階アリーナに移動し、その後、警察車両や自家用車で避難所まで移動しました。

7月18日15時18分に避難指示が発令されました。指示に従い職員全員が避難しました。臨時休校にしていたので、いずれの時も生徒はいませんでした。

■〈その他災害対応で、各学校にお伝えしたいことがあればお願いします。〉

災害発生時の対応の複雑さや多さを考えると、マニュアルにはない臨機応変な対応も必要となり、関係機関や地域コミュニティとの調整が大切だと思います。また、自治体と避難所施設利用に関して協定を結んでいる学校も多々あると思いますが、学校がどの程度関わるのか、自治体との調整が必要になると思います。

事務的なことでは、災害復旧には施設設備等の記録が必要となりますので、日頃から整理し、把握しておくことが大切です。

